

令和 6 年 6 月 13 日現在

機関番号：12613

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19H01478

研究課題名（和文）ロシアにおける人口減少の研究：大規模個票データとマイクロヒストリーの融合

研究課題名（英文）Population decline in Russia: large-scale individual data and microhistory.

研究代表者

雲 和広（KUMO, Kazuhiro）

一橋大学・経済研究所・教授

研究者番号：70314896

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 14,580,000 円

研究成果の概要（和文）：本研究はロシア長期モニタリング調査（Russian Longitudinal Monitoring Survey, RLMS）のデータ分析とロシア連邦統計局内部資料である州間人口移動マトリックスの分析、さらにマイクロヒストリーを基盤としてロシアにおける人口動態決定要因の研究を進めた。ジェンダー論・労働経済学・資産分析・数理人口学という4分野からのアプローチを採り、それらを統合することでロシアにおける出生規定要因の総合的理解を試みた。所得の効果やジェンダー規範の堅牢さ、更に住宅環境や高齢者介護負担などが出生・死亡・地域間移動に与えている影響を抽出した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究はロシアにおける出生の規程要因を、これまで個別に進められてきた各分野での研究の体系化により総合的な理解を可能とすることを推し進めた。社会的分業という点でロシアは疑いなく、日本に先行した経験を有している。だが家庭内分業という側面では依然として日本とロシアとは対比可能な水準にあるものと推測される。従って我が国はロシアの経験から、社会的分業を急速に進める事で生じる問題点、そして社会分業を実現したものの強い家族内規範が残ることによる帰結、を検討する事が可能であろう。

研究成果の概要（英文）： The study was based on the analysis of data from the Russian Longitudinal Monitoring Survey (RLMS) and the interstate population movement matrices from the internal data of the Federal Statistical Service of Russia, as well as microhistories of the demographic determinants in Russia. By adopting and integrating approaches from four fields - gender theory, labour economics, asset analysis and mathematical demography - we attempted to gain a comprehensive understanding of the determinants of births, deaths and migration in Russia.

The effects of income, robustness of gender norms, housing conditions and the burden of caring for the elderly on fertility, mortality and inter-regional migration were extracted.

研究分野：Demography, Area Studies, Russian Economy

キーワード：Russia Demography Fertility Mortality Migration Microdata Microhistory

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

経済体制の移行が始まった1990年代初頭から21世紀に至る旧社会主義諸国において、出生率の低下は焦眉の課題であり続けている。1990年における当該諸国の合計特殊出生率 (Total Fertility Rate, TFR) は概ね西部欧州諸国のそれを上回っていたが、その後急速に低下を続け2000年には多くの当該諸国が1.5を下回る低い出生率を示した。ロシア連邦は言うまでもなくそうした国々の中の1つである。1989年のロシアのTFRは2.01という値を示していたが体制転換の開始から急激な低下を見せ、1999年・2000年にはTFRが1.20を下回る迄に至ったのである (Rosstat, 2009)。

出生率の低下が先進諸国に広く見られる現象であることは多言を要さない。だがロシアにおけるそれは、先進諸国を遥かに凌駕する速度で進展したことが顕著な特徴であり、ロシアは1992年、平時において人口の自然減少を見せる世界最初の国家となった。この背景については直感的に、GDPの急激な低下に伴う所得の減少に起因する家計の育児コスト負担能力の低下・将来に対する不安等の要因の影響があるとされる。また旧ソ連圏は80%以上という高い再生産年齢女性就業率で知られていたが、就業率がさして低下しないままかつて原則的に無料であった保育園/幼稚園等の社会的な子育て支援施設が有料化されたこと・企業の管理下にあった幼稚園等の閉鎖が相次いだこと等も指摘される (Avdeev and Monnier, 1995; DaVanzo and Grammich, 2001)。とはいえ人口動態の検討には比較的長期のデータがなければ分析自体の意義が限定されてしまうため、欧米諸国の少子化分析と比較してその研究の歩みは遅々としたものであった。

ミクロデータが蓄積された2000年以降、ようやくロシアでも個人レベルの意志決定に関わる研究が広く見られるようになった。とはいえロシアの家計データ分析は労働市場・貧困分布等に関する研究が主流であり、出生要因の分析としては僅かなものが挙げられ得るに過ぎない (Kohler and Kohler, 2002; Roshina and Boikov, 2005; Grogan, 2006)。かつそれらは、変数の選択がアドホックになされる・極めて短い期間のデータに依拠した不安定な結果が得られる・複数の研究の間で違いに対立する結論を得る、といった状況に陥っている。ロシア本国ではVishnevskii (2006)やAntonov (2008)ら優れた研究があるものの、記述的・歴史的な検討が中心であり、ミクロデータによる分析が主流となっている国際的状況とは異なる環境にある。1991年から2001年までの急速な出生率低下に続き2001年以降2009年までの持続的な出生率の上昇という特異な現象が生じているにも関わらず、その決定要因の分析は依然として停滞したままである。とりわけ、家庭内分業・資産の保有状況・育児条件といった家計調査データによる分析が不可欠であるような要因が出生動態に与える影響の検討は極めて遅れていると言わざるを得なかったのである。

2. 研究の目的

出生に影響を与えると想定される要因が多々あることは自明である。だがその多くはミクロデータに依拠することなく検討を加えることは困難なものである。日本をも凌駕する速度で出生率の低下が進行したロシアの経験から学ぶべく、本研究は上述のロシアにおける出生研究の現状を踏まえ、ロシアの家計/個人レベルでのミクロデータを用いた総合的な出生要因分析を行う。ただしその接近法は次の諸点で先行研究と決定的な違いがある。第1に、アドホックな

変数の選択を行わず，欧米諸国・日本における出生研究の実績を踏まえた理論的・実証的妥当性のある要因の分析に集中する（Kohler, Billari and Ortega, 2006; Philipov and Dorbritz, 2003; 大淵, 1988; 白波瀬, 2006; 高山・斎藤, 2006）．欧米諸国・日本の出生研究が既にマイクロデータを基礎としていることは当然であるが，そこから得られた知見をロシアの分析に適用する．特異な動態を見せるロシアの出生動向を分析する上で，本研究はその用いるデータ・手法とも先駆的なものとなることが確実であり，国際的に高く評価される可能性は極めて高い．第2 に，家庭内分業と育児環境・労働市場環境・資産分布状況という各側面において，本研究チームはこれまでそれぞれ独自に研究を進めてきたが，その過程でマクロ及びマイクロレベルの様々なデータベースを獲得してきた．これらを活用し，かつ各々の得意としてきた側面の分析を統合することで，全く新たな実証分析を実行することが出来る．家計・個人レベルのデータを用いたロシア経済分析においてプロジェクト型で実施する研究は本邦初のものである．ロシアの出生分析では人口政策と人口学的要因さらに経済的要因とが，それぞれ個別に論じられる傾向が非常に強く，各種要因の相互関係が検討されないまま現在に至っている（DaVanzo, 1996; Kharikova and Andreev, 2000; Rosstat, 2009）．その意味で欧米・日本における出生研究の状況から大きく後れを取っていたと言わねばならない．それら多様な要因の影響をそれぞれ識別し得るモデルに依拠した分析を行うことにより，マイクロ計量分析に基づくロシアの出生規程要因を厳密に抽出することが本研究の目的であった．

3．研究の方法

本プロジェクトはロシアの家計調査データRLMS・国際社会科学プログラムISSPの個票データを利用しロシアの人口動態規程要因を抽出・特定することが課題であった．その進行は下記の段階を踏んだ．即ち，(1)機関・研究グループ単位での利用を可能とした契約によるRLMS個票その他データの獲得；(2)文献調査を中心とする人口動態規定要因の再精査；(3)データの作業用クリーニング；(4)試論的モデルの設定と分析；(5)マクロ・セミマクロデータとの整合性のチェック；(6)社会学的調査によるデータの補強；(7)分析モデルの再構築と再度の分析；(8)成果のとりまとめと公表，という8段階であり，結果の獲得までには(4)～(6)の段階を繰り返すが，必要に応じ(3)のデータクリーニングに立ち戻る事にもなった．

(1)のデータ利用契約は，裁可が下るまで数ヶ月を要したものの，研究補助者の助力の下，過去の経験に基づき研究代表者所属機関・データ管理機関との間での手続きを行った．研究補助者は英語検定一級の資格を有し総合商社での10有余年の勤務経験を持つ帰国子女であり，本プロジェクト全体の研究補助者として尽力頂いた．実際の分析に立ち入るに先立ち，各研究分担者は(2)の文献調査によりロシアの人口動態に影響を与えることが推測される要因の再検討・再抽出を，各担当/専門分野に沿って行った．(3)データのクリーニングは研究協力者の助力を得て行った．

(4)(5)の分析・データ整合性のチェック，は個々の研究代表者・研究分担者がそれぞれの分野について，互いの協力の下で進めていく作業であった．長期的動態との比較やマクロ統計との比較については，過去或いは現在進行中の研究の中間生産物として獲得又は作成してきたロシア長期人口統計系列・ロシア連邦保健省内部動態統計，CIS諸国家計調査個票・ロシア地域経済統計データベース等を利用した．その進展を受けて，海外共同研究者であるロシア連邦統計局人口統計課・課長代理等の助力を頂き，ロシア連邦統計局・ロシア保健省等でのヒアリン

グを実施し現地の認識の把握を行うと共に、連邦機関が有する内部データの更なる獲得に努めた。

更に(6)の社会学的調査は、大規模データ分析の結果を補完するものであった。研究代表者達と長年の交流を有する前出の海外共同研究者等と共に、社会学的調査の経験を持つ研究代表者と五十嵐・堀江が中心に行った。

そしてプロジェクトの完了段階が(7)(8)の、最終的な分析への整備・統合と、成果物の公表とであった。研究成果は日本語・英語・ロシア語で作成し、我が国及び海外への積極的な発信を行った。

4. 研究成果

本プロジェクト各分野の結果を統合し、ロシアにおける人口動態規定要因の総合的検討を完了させた。また、過年度に実施したマイクロヒストリー分析の結果によって本体としての大規模マイクロデータ計量分析の論点を補完し、主たる分析結果の説得力を強調することにも成功したものと考える。

成果は既に多くの刊行物の形をとっているが、更に可能な限り国際学術誌への投稿を実施している。また、日本比較経済体制学会・英国スラブ東欧研究学会・日本ロシア東欧学会等での成果の公表を行った。多数の招待講演においても成果報告を実現した。それらを通じて得られたコメントや改善への示唆等を参照し、一連の成果を再検討の上でプロジェクト集約物としての単行本出版を企画している段階である。代表者の編著書としての成果公開も実現出来た。更に邦文・英文の専門図書や啓蒙書の出版を目指す次第である。

成果物は別記の通り多数あるが、特記すべきものとしては(1) *Gendering Post-Soviet Space: Demography, Labor Market and Values in Empirical Research* (Karabchuk, T, K. Kumo, K. Gatskova, E. Skoglund), Springer Nature 2021年2月; (2) 『アジア長期経済統計 10 ロシア』(久保庭眞彰, 雲和広, 志田仁完) 東洋経済新報社 2020年7月; (3) *Russian Economic Development over Three Centuries: New Data and Inferences* (Masaaki Kuboniwa, Yasushi Nakamura, Kazuhiro Kumo, Yoshisada Shida), Palgrave Macmillan, London, UK 2020年3月, がある。これらが当該分野における礎石となることを確信している。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計56件（うち査読付論文 43件 / うち国際共著 13件 / うちオープンアクセス 16件）

1. 著者名	4. 巻 10
2. 論文標題	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名	6. 最初と最後の頁 44 ~ 78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17323/demreview.v10i1.17260	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 雲和広, T. リトヴィネンコ	4. 巻 1068
2. 論文標題 「人口動態とその諸要因：サハ（ヤクーチア）における民族と地域的特性」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『ロシア・ユーラシアの社会』	6. 最初と最後の頁 18-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 五十嵐徳子, 雲和広	4. 巻 1068
2. 論文標題 「女性の声：タジク女性に対するインタビューの記録」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『ロシア・ユーラシアの社会』	6. 最初と最後の頁 59-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Kumo Kazuhiro	4. 巻 1
2. 論文標題 Interregional Migration: Reexamination of Population Redistribution in Russia at the Late Soviet Period	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 "Landmarks for Spatial Development: Equality or Differentiation", Martinat, S., V. Kumar, A. Torre, Yu. Lavrikova and E. Kuzmin, eds., Springer	6. 最初と最後の頁 5 ~ 36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 雲和広, E. シャドリナ	4. 巻 74(1-2)
2. 論文標題 「ソビエト・ロシアにおける階層型都市構造の変遷」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『経済研究』	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kumo Kazuhiro, Kechetova Anna	4. 巻 11
2. 論文標題 Fertility in Russia: A Re-Examination Using Microdata	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Economies	6. 最初と最後の頁 245 ~ 245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kazuhiro Kumo	4. 巻 1
2. 論文標題 Poverty: changes in the living standards of transition economies and their determinants	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Oxford Handbook of Post-Socialist Economies, Oxford University Press	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki, Ichiro and Kumo, Kazuhiro	4. 巻 1
2. 論文標題 J-Curved Growth Path: Economic Crisis and Recovery in Post-Socialist Economies	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Oxford Handbook of Post-Socialist Economies, Oxford University Press	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 道上真有	4. 巻 1
2. 論文標題 「第4章 社会科学 4-2経済 4-2-2 家計・暮らし・経済格差」	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 北極環境研究コンソーシアム長期構想編集委員会編『北極域の研究-その現状と将来構想』海文堂	6. 最初と最後の頁 257-264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 道上真有	4. 巻 1068
2. 論文標題 「ロシア人口センサス(2010、2020)から見る住宅事情」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『ロシア・ユーラシアの社会』	6. 最初と最後の頁 51-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 五十嵐徳子	4. 巻 1068
2. 論文標題 「ロシアの高齢者介護に見るジェンダー」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ロシア・ユーラシアの社会	6. 最初と最後の頁 3-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 雲和広	4. 巻 58
2. 論文標題 中央アジアの人口統計	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『比較経済研究』	6. 最初と最後の頁 25-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5760/jjce.58.1_25	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kumo, Kazuhiro	4. 巻 1
2. 論文標題 Population Aging, Low Fertility, and Social Security in Russia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Xinxin Ma ed., Employment, Retirement and Lifestyle in Aging East Asia, Palgrave Macmillan (書籍所収論文)	6. 最初と最後の頁 283-299
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-16-0554-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kumo, Kazuhiro	4. 巻 41
2. 論文標題 ,	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Slavic and East European Studies	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5823/jsees.41.0_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 ザリーナ・アバチェワ, 雲 和広	4. 巻 1055
2. 論文標題 ロシアの渋滞問題とその解決方法としてのスマート信号システム	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『ロシア・ユーラシアの社会』	6. 最初と最後の頁 2-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 , , , .	4. 巻 3
2. 論文標題 COVID-19:	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名	6. 最初と最後の頁 88-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31249/rsm/2021.03.06	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kumo, K. and Shadrina, E.	4. 巻 13 (20)
2. 論文標題 On the Evolution of Hierarchical Urban Systems in Soviet Russia, 1897-1989	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 132011389
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su132011389	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 .	4. 巻 1
2. 論文標題 ()	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名	6. 最初と最後の頁 70-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18384/2712-7621-2021-1-70-92	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 五十嵐徳子	4. 巻 25
2. 論文標題 「ロシア語教育における性的マイノリティへの配慮」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 天理大学人権問題研究室紀要	6. 最初と最後の頁 25-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 雲和広・森永貴子・志田仁完	4. 巻 1
2. 論文標題 人口	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 久保庭眞彰・雲和広・志田仁完編, 『アジア長期経済統計 10 ロシア』, 東洋経済新報社 (書籍所収論文)	6. 最初と最後の頁 39-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 志田仁完・中村靖・雲和広・大津定美・石川健・日臺健雄	4. 巻 1
2. 論文標題 労働	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 久保庭眞彰・雲和広・志田仁完編, 『アジア長期経済統計 10 ロシア』, 東洋経済新報社 (書籍所収論文)	6. 最初と最後の頁 53-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki, I. and K. Kumo	4. 巻 1
2. 論文標題 Transformational Recession and Recovery: Determinants of the J-Curved Growth Path	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Iwasaki, I. ed., The Economics of Transition: Developing and Reforming Emerging Economies, Routledge (書籍所収論文)	6. 最初と最後の頁 67-118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4324/9780429264979	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kumo, K.	4. 巻 1
2. 論文標題 Economic Transition and Poverty: Changes in the Determinants of Poverty	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Iwasaki, I. ed., The Economics of Transition: Developing and Reforming Emerging Economies, Routledge (書籍所収論文)	6. 最初と最後の頁 119-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4324/9780429264979	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Horie N. & K. Kumo	4. 巻 1
2. 論文標題 Human Resource Management in Transition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Iwasaki, I. ed., The Economics of Transition: Developing and Reforming Emerging Economies, Routledge (書籍所収論文)	6. 最初と最後の頁 239-262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4324/9780429264979	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uegaki A. & K. Kumo	4. 巻 1
2. 論文標題 The Collapse of the COMECON System and Trade in Transition Countries	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Iwasaki, I. ed., The Economics of Transition: Developing and Reforming Emerging Economies, Routledge (書籍所収論文)	6. 最初と最後の頁 263-284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4324/9780429264979	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名	4. 巻 2
2. 論文標題 (.....):	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名	6. 最初と最後の頁 63-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18384/2712-7621-2020-2-65-77	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Litvinenko, T., K. Kumo, A. Savvinova, and V. Filippova	4. 巻 13 (4)
2. 論文標題 Rural Population Dynamics in the Russian Extreme North in 1989-2019: A Case of Sakha Republic (Yakutia)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Geography, Environment, Sustainability	6. 最初と最後の頁 65-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24057/2071-9388-2020-137	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 雲和広	4. 巻 72 (1)
2. 論文標題 「ロシアにおける出生率：マイクロデータによる再検討」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『経済研究』	6. 最初と最後の頁 20-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Igarashi, N. and K. Kumo	4. 巻 1
2. 論文標題 Women's Voices: Work-Life Balance and Power Relationship in the Household in Tajikistan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Karabchuk, T., Kumo, K., Gatskova, K and Skoglund, E. eds., Gendering Post-Soviet Space: Demography, Labor Market and Values in Empirical Research, Springer Nature (書籍所収論文)	6. 最初と最後の頁 303-332
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-15-9358-1_14	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武田友加	4. 巻 63
2. 論文標題 「ロシア農村のウェルビーイング：経済指標を超えて」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『ユーラシア研究』	6. 最初と最後の頁 50-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武田友加	4. 巻 1
2. 論文標題 「ロシア：コロナ禍がもたらす就業・失業の変化」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 宇佐見耕一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編集代表『世界の福祉年鑑2020：【特集】感染症と社会福祉 コロナ禍と人間』旬報社。(書籍所収論文)	6. 最初と最後の頁 175-182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Michigami Mayu	4. 巻 1
2. 論文標題 The importance of focus on the housing conditions for labor migrants in the COVID pandemic of Russia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『ユーラシア研究』 XX - XXI (書籍所収論文)	6. 最初と最後の頁 268-274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 道上 真有	4. 巻 61(3)
2. 論文標題 住宅からみるロシアの人の生き方とロシア経済、その変化」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ユーラシア研究所・編+群像社『ユーラシア研究』	6. 最初と最後の頁 16-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mayu Michigami	4. 巻 1
2. 論文標題 Problems of Rental Housing and Living Conditions of Foreign Labour Migrants in Russian cities (the 2010s)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名	6. 最初と最後の頁 85-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24411/1026-8804-2020-10007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mayu Michigami	4. 巻 101(1)
2. 論文標題 Housing standard for Labor Migrants in the cities of Russia by Results of Sociological Questionnaire	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名	6. 最初と最後の頁 106-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.38085/22264434-2020-1-106-113	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 五十嵐徳子	4. 巻 73
2. 論文標題 「日本型高齢者ケア普及の可能性を探る」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『東アジア研究』	6. 最初と最後の頁 69-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩崎一郎・雲和広	4. 巻 70(1)
2. 論文標題 「ロシア地域出生率の動態と決定要因：動学的パネルデータ分析」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『経済研究』	6. 最初と最後の頁 30-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 雲和広	4. 巻 70(1)
2. 論文標題 「ソビエト期ロシアにおける地域間人口再配置：再論」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『経済研究』	6. 最初と最後の頁 54-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki, I. and K. Kumo	4. 巻 61
2. 論文標題 J-Curve in Transition Economies: A Large Meta-Analysis of the Determinants of Output Changes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Comparative Economic Studies	6. 最初と最後の頁 149-191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiro Kumo and Tamara Litvinenko	4. 巻 21
2. 論文標題 Post-Soviet population dynamics in the Russian Extreme North: A case of Chukotka	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Polar Science	6. 最初と最後の頁 58-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.polar.2018.11.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kumo, K. and T. V. Litvinenko	4. 巻 10
2. 論文標題 Instability and Stability in the Population Dynamics of Chukotka and Its Settlements in the Post-Soviet Period: Regional Features and Intraregional and Local Differences	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Regional Research of Russia	6. 最初と最後の頁 71-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1134/S2079970520010050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Iwasaki, I. and K. Kumo	4. 巻 32(2)
2. 論文標題 Determinants of Regional Fertility in Russia: A Dynamic Panel Data Analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Post-Communist Economies	6. 最初と最後の頁 176-214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiro Kumo	4. 巻 図書所収論文
2. 論文標題 Population	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Kuboniwa, K., Y. Nakamura, K. Kumo and Y. Shida eds., Russian Economic Development over Three Centuries: New Data and Inferences, Palgrave Macmillan, London, United Kingdom 図書所収論文	6. 最初と最後の頁 59-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-13-8429-5_3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshisada Shida, Kazuhiro Kumo and Yasushi Nakamura	4. 巻 図書所収論文
2. 論文標題 Labor	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Kuboniwa, K., Y. Nakamura, K. Kumo and Y. Shida eds., Russian Economic Development over Three Centuries: New Data and Inferences, Palgrave Macmillan, London, United Kingdom 図書所収論文	6. 最初と最後の頁 105-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-13-8429-5_4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 .	4. 巻 6
2. 論文標題 :	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名	6. 最初と最後の頁 107-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31857/S2587-556620196107-125	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 .	4. 巻 15
2. 論文標題 :	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名	6. 最初と最後の頁 57-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 道上真有	4. 巻 61
2. 論文標題 「住宅からみるロシアの人の生き方とロシア経済、その変化」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ユーラシア研究	6. 最初と最後の頁 16-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Michigami, Mayu	4. 巻 1
2. 論文標題 Problems of Rental Housing and Living Conditions of Foreign Labour Migrants in Russian cities (the 2010s)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名	6. 最初と最後の頁 85-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24411/1026-8804-2020-10007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名	4. 巻 2
2. 論文標題) (-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ,	6. 最初と最後の頁 6-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 道上真有	4. 巻 149
2. 論文標題 ロシアにおける住宅ビジネス：日本企業にとっての展望と課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ERINA REPORT PLUS	6. 最初と最後の頁 14-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Michigami, Mayu	4. 巻 図書所収論文
2. 論文標題 Demographic Situation and Housing and Mortgage Policy in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 図書所収論文	6. 最初と最後の頁 368-372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武田友加	4. 巻 図書所収論文
2. 論文標題 「ロシアの貧困と生活保護制度」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 仙石学編『新版 世界の社会福祉：第5巻 ロシア・東欧編』旬報社	6. 最初と最後の頁 46-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 五十嵐徳子	4. 巻 61
2. 論文標題 「「らしさ」を求めるロシア社会」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『ユーラシア研究』	6. 最初と最後の頁 9-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 五十嵐徳子	4. 巻 1046
2. 論文標題 「ロシア社会は「らしさ」が好き？」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『ロシア・ユーラシアの経済と社会』	6. 最初と最後の頁 19-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 五十嵐徳子	4. 巻 1039
2. 論文標題 「ソ連邦解体以後のロシアのジェンダー状況を考える」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『ロシア・ユーラシアの経済と社会』	6. 最初と最後の頁 36-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 五十嵐徳子	4. 巻 図書所収論文
2. 論文標題 「ロシアの高齢者介護」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 仙石学編『新版 世界の社会福祉：第5巻 ロシア・東欧編』旬報社	6. 最初と最後の頁 75-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計39件（うち招待講演 22件 / うち国際学会 20件）

1. 発表者名 Kumo, Kazuhiro
2. 発表標題 Fertility in Russia: A Re-examination Using Microdata
3. 学会等名 ロシア・東欧学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 雲和広
2. 発表標題 ロシア人口の歴史と現在
3. 学会等名 四大学連合文化講演会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名
2. 発表標題 -
3. 学会等名 II 講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kumo, Kazuhiro
2. 発表標題 On the Evolution of Hierarchical Urban Systems in Soviet Russia, 1897-1989
3. 学会等名 比較経済体制学会全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 雲和広
2. 発表標題 ロシアにおける出生率：マイクロデータによる再検討
3. 学会等名 比較経済体制学会全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kumo, Kazuhiro
2. 発表標題 Inter-Regional Population Re-distribution in Soviet Russia Revisited
3. 学会等名 VI International Regional Economics Conference (REC-2021), Institute of Economic Research, Russian Academy of Science, Ekaterinburg, Russia. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 雲和広
2. 発表標題 ソビエト・ロシアにおける階層型都市システムの変遷、1897 - 1989 年
3. 学会等名 ロシア・東欧学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 雲和広
2. 発表標題 ジェンダー規範に見る旧社会主義圏の特異性：マイクロデータによる接近、ロシアの場合
3. 学会等名 ロシア・東欧学会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kumo, Kazuhiro
2. 発表標題
3. 学会等名 (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名
2. 発表標題 COVID-19
3. 学会等名 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 道上真有
2. 発表標題 ロシアにおける外国人労働移民の居住環境の問題：ロシア25都市アンケート調査から
3. 学会等名 比較経済体制学会全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Mayu Michigami
2. 発表標題 Housing Standard for Labor Migrants in the Cities of Russia by Results of Sociological Questionnaire
3. 学会等名 ICCEES(the International Council for Central and East European Studies)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 道上真有
2. 発表標題 ロシア 住生活から見えるロシア人の暮らしと経済
3. 学会等名 第27期(令和3年度)2021年度にいがた市民大学、現代の社会問題コース(大学コンソーシアム連携講座)『つながりから見えるアジアの姿と未来』(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 道上真有
2. 発表標題 コロナ禍における日本の研究教育の現状
3. 学会等名 北東アジア学会学術研究大会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 武田友加
2. 発表標題 「ロシアにおけるウェルビーイングと開発：経済状態、つながり、健康の3つの側面から」
3. 学会等名 ArCSII分野横断プロジェクト「北極圏に暮らす人々と気候変動」研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 武田友加
2. 発表標題 「サハ共和国のウェルビーイングの研究に向けての素描：住民の健康と環境汚染」
3. 学会等名 ArCSII文化社会課題第2班研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 五十嵐徳子
2. 発表標題 「現代ロシアの高齢者介護に見るジェンダー」
3. 学会等名 ロシア・東欧学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 五十嵐徳子
2. 発表標題 「ロシアの高齢者ケアとジェンダー」
3. 学会等名 一橋大学経済研究所共同利用共同研究拠点・ロシア研究センター共催「新興市場の動態把握：社会構造を揺るがす危機と変革」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kumo, Kazuhiro
2. 発表標題 ロシアの保健・医療とCovid-19
3. 学会等名 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業シンポジウム SDGs x COVID-19: 北東アジアの経験（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名
2. 発表標題 -19
3. 学会等名 Regular Seminar of the Institute of Economics, Russian Academy of Science, Moscow（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 雲和広
2. 発表標題 ソビエト・ロシアにおける 階層型都市システム構造の変遷 1897-1989年
3. 学会等名 京都大学経済研究所共同利用共同研究拠点コンファレンス「新興市場の比較経済分析：中国・ロシア・東欧」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Mayu Michigami
2. 発表標題 The importance of focus on the housing conditions for labor migrants in the COVID-19 pandemic of Russia
3. 学会等名 (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Mayu Michigami
2. 発表標題 The importance of focus on the housing conditions for labor migrants in the COVID-19 pandemic of Russia
3. 学会等名 Internatoinal Research Conference, " Migration Processes in the Asia-Pacific Region: Political, Socio-Economic, and Demographic Effects", Institute for Demographic Research FCTAS RAS (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kumo, Kazuhiro
2. 発表標題 Inter-regional Population Migration in the Late-Soviet Period: A Re-examination
3. 学会等名 British Association for Slavonic and East European Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kumo, Kazuhiro
2. 発表標題
3. 学会等名 XXXV - - (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kumo, Kazuhiro
2. 発表標題 Demography of Japan: A Society of Decreasing Population
3. 学会等名 Fertility and Ideal Number of Children (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kumo, Kazuhiro
2. 発表標題 Post-Soviet Population Dynamics in the Russian Extreme North
3. 学会等名 Sustainable Development in China and Russia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kumo, Kazuhiro
2. 発表標題 Geography and Trade for Regional Growth in Russia, 2000-2017
3. 学会等名 " (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kumo, Kazuhiro
2. 発表標題 Demography of Japan
3. 学会等名 Far Eastern Federal University Special Lecture
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 道上真有
2. 発表標題 「ロシアにおける外国人労働移民の居住環境の問題」
3. 学会等名 スラブ・ユーラシア研究センター客員研究員セミナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Michigami, Mayu
2. 発表標題 :
3. 学会等名 Migration Bridges in Eurasia XI International Scientific and Practical Forum (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michigami, Mayu
2. 発表標題 -
3. 学会等名 The 2nd Russia-Japan Student Forum, Special Lecture (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michigami, Mayu
2. 発表標題 Russian Corporate Welfare and a Comparative Analysis between Eastern and Western Regions in Russia
3. 学会等名 VI Russian-Japanese Scientific Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michigami, Mayu
2. 発表標題
3. 学会等名 X () (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michigami, Mayu
2. 発表標題 Housing Conditions of Labor Migrants in Russia by Results of Sociological Questionnaire
3. 学会等名 The 10th East Asian Conference on Slavic Eurasian Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 道上真有
2. 発表標題 「住宅からみるロシアの人の生き方とロシア経済、その変化」
3. 学会等名 ユーラシア研究所総合シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michigami, Mayu
2. 発表標題 -
3. 学会等名 All-Russian Demographic Forum with international participation (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Igarashi, Noriko
2. 発表標題 -
3. 学会等名 XXXV 演) (国際学会) (招待講
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 五十嵐徳子
2. 発表標題 「らしさ」を求めるロシア社会
3. 学会等名 創立30周年記念第31回ユーラシア研究所総合シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 Karabchuk, T., K. Kumo, K. Gatskova, and E. Skoglund eds.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 412
3. 書名 Gendering Post-Soviet Space: Demography, Labor Market and Values in Empirical Research	

1. 著者名 久保庭真彰・雲和広・志田仁完編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東洋経済新報社	5. 総ページ数 528
3. 書名 『アジア長期経済統計 10 ロシア』	

1. 著者名 Kuboniwa, M., Y. Nakamura, K. Kumo and Y. Shida eds	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Palgrave Macmillan, London, United Kingdom	5. 総ページ数 443
3. 書名 Russian Economic Development over Three Centuries: New Data and Inferences	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	道上 真有 (Michigami Mayu) (30527693)	新潟大学・人文社会科学系・准教授 (13101)	
研究分担者	武田 友加 (Takeda Yuka) (70376573)	九州大学・基幹教育院・准教授 (17102)	
研究分担者	五十嵐 徳子 (Igarashi Noriko) (80294156)	天理大学・国際学部・教授 (34602)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
ロシア連邦	Higher School of Economics	Institute of Geography, RAS	Institute of Economic Research, RAS	
アラブ首長国連邦	UAE University			
ドイツ	Institute for East European Studies			